

道路の整備

道路の整備

道路の整備については、新潟県みちづくりプランの6方針に基づき、効率的・効果的に整備を推進することにより、県土の発展を支えています。

①命をつなぐ道路づくりの推進

一般国道404号『長岡東西道路（長岡市）』

整備前



整備前は市内中心部に流入する通過交通により、長岡市街地の道路が交通渋滞している状況でした。
(長生橋東詰交差点)

整備後



新たな橋梁を含めたバイパス整備により、長岡市街地で発生していた交通渋滞が緩和され、長岡赤十字病院周辺の道路についての渋滞が緩和され円滑に移動できるようになりました。

②円滑な生活道路の確保

一般県道国道253号『虫川バイパス（上越市）』

整備前



整備前は幅員が狭く、歩道もない道路で車のすれ違い・歩行者の通行に危険な道路でした。

整備後



バイパス整備により、課題が解消され安心・安全に通行できる道路になりました。

③雪や災害に強い道路づくりの推進



中山間地帯の道路では山側からの落石や冬期の雪崩により道路が通行止めとなる危険があります。

斜面の落石対策・雪崩防護柵の設置等の対策を実施することで、落石・雪崩により道路が通行止めになる事態を防ぎます。

④道路機能を保存するための維持管理の充実



建設から50年以上経過した橋りょうについては、損傷・劣化が進み、車両の通行に支障がでる事が懸念されます。

橋梁の点検・補修をこまめに行い、橋梁の長寿命化を図っていく事により、これまで通り安心して通行できる橋梁を維持します。